

第14回市民公開講座 開催報告



山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和7年9月23日（火・祝）に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、第14回市民公開講座『女性特有のがんと男性特有のがん』が、山口市のKDDI維新ホールメインホールで開催され、一般市民116名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡准教授とFMきららの岡崎さんの総合司会のもと、本院腫瘍センターの永野教授の開会挨拶後、医師4名のそれぞれの立場から、女性特有のがんと男性特有のがんについて4つの講演が行われました。

プログラム

- 『婦人科がんの検診とワクチン』
- 『前立腺がんの治療』
- 『乳がんの検診』
- 『乳がんの治療』

平林 啓先生
小林 圭太先生
深光 岳先生
前田 訓子先生

各分野の先生方の講演に熱心に耳を傾ける様子が見受けられ、質疑応答ではたくさんの質問が出て、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることが出来ました。参加者からは、「検診の大切さを改めて感じました」、「短い時間内ではあるが、各がんの特徴や治療法などがよく分かった」、「男性もHPVワクチンを受けられるというのが新しい発見だった。検診・治療だけではなく予防についてもお話を聞けたらうれしいです」、「回答は大変でしょうが、全ての質問に答えていただくのはとても素晴らしいことだと思います」、「年2回市民公開講座の開催を継続していただければ有難いです」など、たくさん感想をいただきました。

腫瘍センターでは、今後も市民公開講座を開催する予定ですので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

《ポスター》

《開会挨拶》



《講演 1》



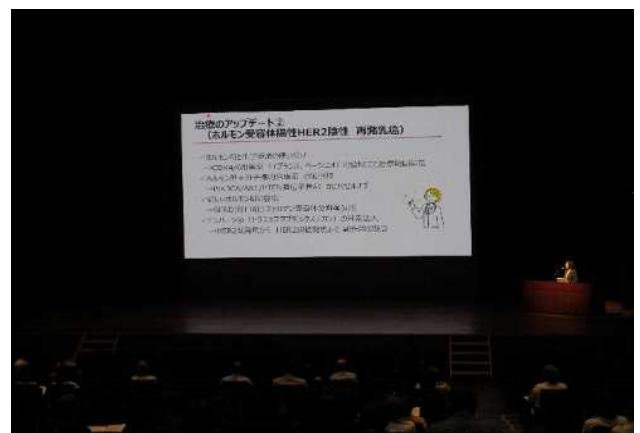
《講演 2》



《講演 3》



《講演 4》



《質疑応答》



《質疑応答》

